

資料1

# 行田市忍川浸水対策連絡協議会



令和7年7月2日(水)10時00分～

# 設置要綱について(再掲)

## 目的

令和元年東日本台風により、一級河川忍川の越水、溢水等により甚大な被害を受けた地域の浸水対策を推進するため、市及び地域の住民が相互に連携を図り、情報を共有することを目的とする。

## 組織

### ○関係自治会の会長（12自治会）

- ・第二旭
- ・向友会
- ・緑町
- ・一佐間
- ・二佐間
- ・佐間神明
- ・佐間三間
- ・下忍区
- ・堤根区
- ・樋上区
- ・南駒形
- ・下忍団地

### ○行田市（部長級6名）

- ・建設部長（座長）
- ・技監
- ・危機管理監
- ・都市整備部長
- ・環境経済部長
- ・総合政策部長

### ○オブザーバー（2機関）

- ・埼玉県行田県土整備事務所
- ・独立行政法人水資源機構 利根導水総合管理所

※技監は令和7年4月1日より

## 所掌事項

### ○忍川整備に関する

- ・情報共有
- ・地域の意見集約
- ・その他忍川整備の促進に必要な事項

# 浸水対策事業の概要(再掲)

## 浸水対策重点地域緊急事業【利根川水系忍川】(埼玉県・行田市)

浸水重点

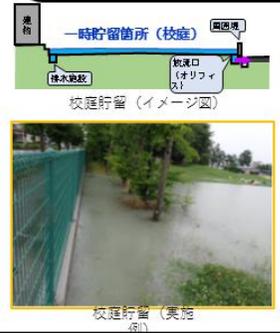
埼玉県行田市の利根川水系忍川では、令和元年東日本台風により、床上浸水55戸、床下浸水194戸の甚大な浸水被害が発生。このため、浸水対策重点地域緊急事業により、調節池の整備、河道掘削、校庭貯留等を実施し、早期に地域の安全性の向上を図る。



- 〈県・市の独自事業〉
- 県単独事業
    - ・県：樹木伐採・土砂掘削、堤防整備
  - ソフト対策
    - ・県：中高頻度の水害リスク情報図作成
    - ・市：マイ・タイムライン作成
  - 適切な維持管理
    - ・県：定期的な土砂撤去等
  - 流域対策
    - ・市：田んぼダム、市街化調整区域の浸水リスクが高いエリアにおける開発許可の厳格化

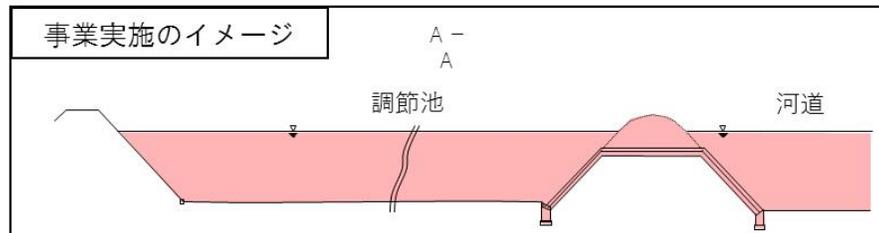
【全体計画】  
 河川名：一級河川利根川水系忍川  
 事業内容：調節池、河道掘削、橋梁架換、用地買収、校庭貯留等  
 全体事業費：約75億円  
 事業期間：R3～R8  
 施工地：行田市

【令和3年度当初】  
 事業内容：用地買収、測量設計等  
 事業費：506百万円(国費252百万円)



浸水戸数		
地区名	床上浸水(戸)	床下浸水(戸)
合計	55	194

※令和元年東日本台風による浸水被害



※各施設は、今後実施する詳細な調査や検討等の結果により、変わる可能性もある。  
 ※防災・安全交付金については、国の意図を示すものであり、計画への配分後の用途は地方の裁量に委ねられ、国の意図と異なる配分を妨げるものではない。

# 行田市の取組について (経過報告)

# 忍川浸水対策事業に伴う3つの取組

①

校庭貯留

忍沼川逆流防止堰シミュレーション

②

田んぼダム

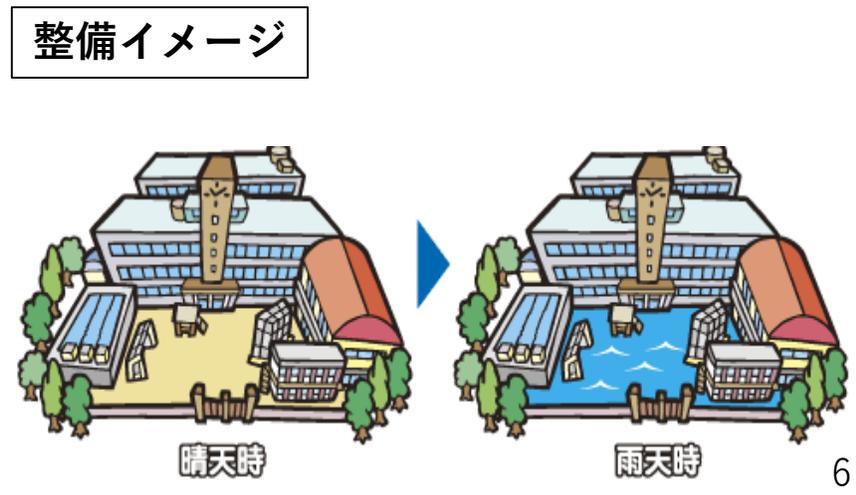
③

各種防災行動に係る啓発の実施

### ○小学校4か所【忍、南、西、泉】において実施予定

R7年度は西小学校の工事を実施します

	貯留量 (予定)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
忍小学校	967m <sup>3</sup>	実施設計	工事				
南小学校	834m <sup>3</sup>		実施設計	工事			
西小学校	(821m <sup>3</sup> )			実施設計		工事	
泉小学校	(758m <sup>3</sup> )				実施設計		工事

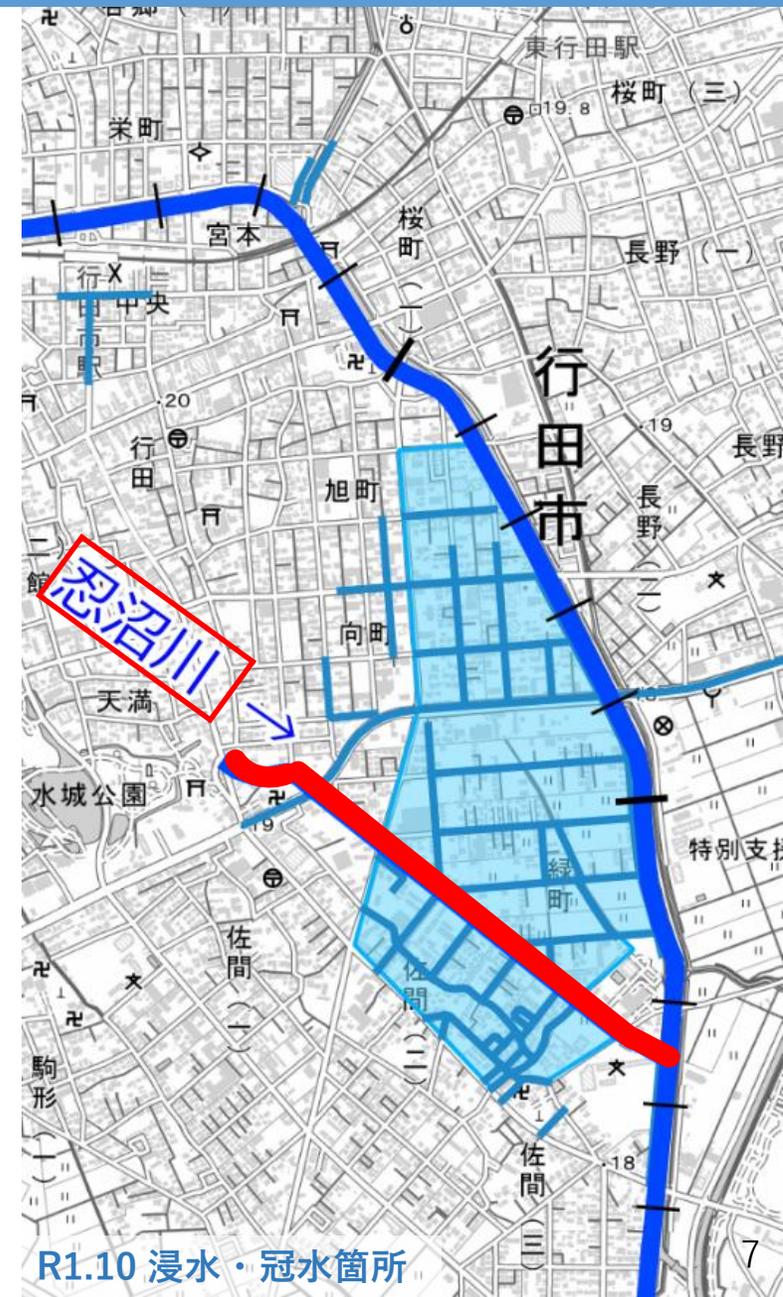


### シミュレーションの目的

令和元年台風第19号にて忍沼川が内水氾濫した原因は、忍川の水位上昇による逆流（バックウォーター現象）があったと推察されます

忍川からの逆流を防止するためには、逆流防止堰の設置が必要ですが、逆流防止堰を設置すると、忍沼川の水が排水できなくなってしまうため、結果的に内水氾濫が発生してしまうことが想定されます

以上のことから、逆流防止堰を設置した際の効果の検証が必要であると判断し、事業の効果を検証するためのシミュレーション業務を実施しています



### シミュレーションの内容

忍川および忍沼川の河道モデルを構築し、2種類の降雨シミュレーションを実施

忍川の整備状況による変化を確認するため3つのモデルを作成  
< 忍川の整備状況に応じた河道モデル >

- ①：現況
- ②：下忍調節池・河道拡幅完了後（現在事業中）
- ③：忍川河川整備計画完了後

< 降雨モデル >

- A：昭和33年9月型（W=1/10） [忍川河川整備計画の想定降雨]
- B：令和元年10月洪水

これらの組み合わせで

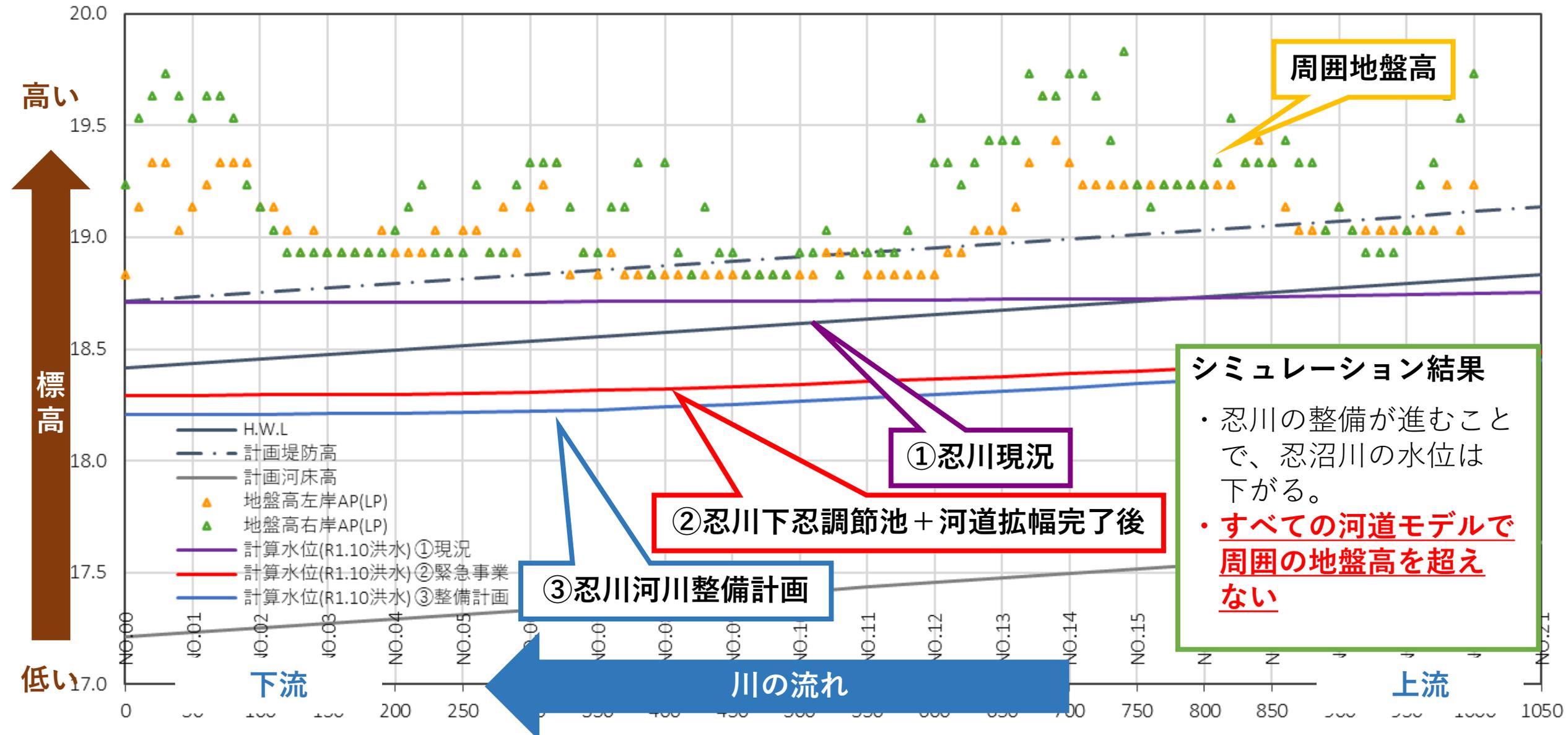
忍川の整備状況3パターン×降雨モデル2パターン = 6パターン

はじめに、各パターンでの忍沼川の水位をシミュレーションした  
次に、逆流防止堰を設置した場合の影響を確認した



# 各パターンにおける 忍沼川の水位予測

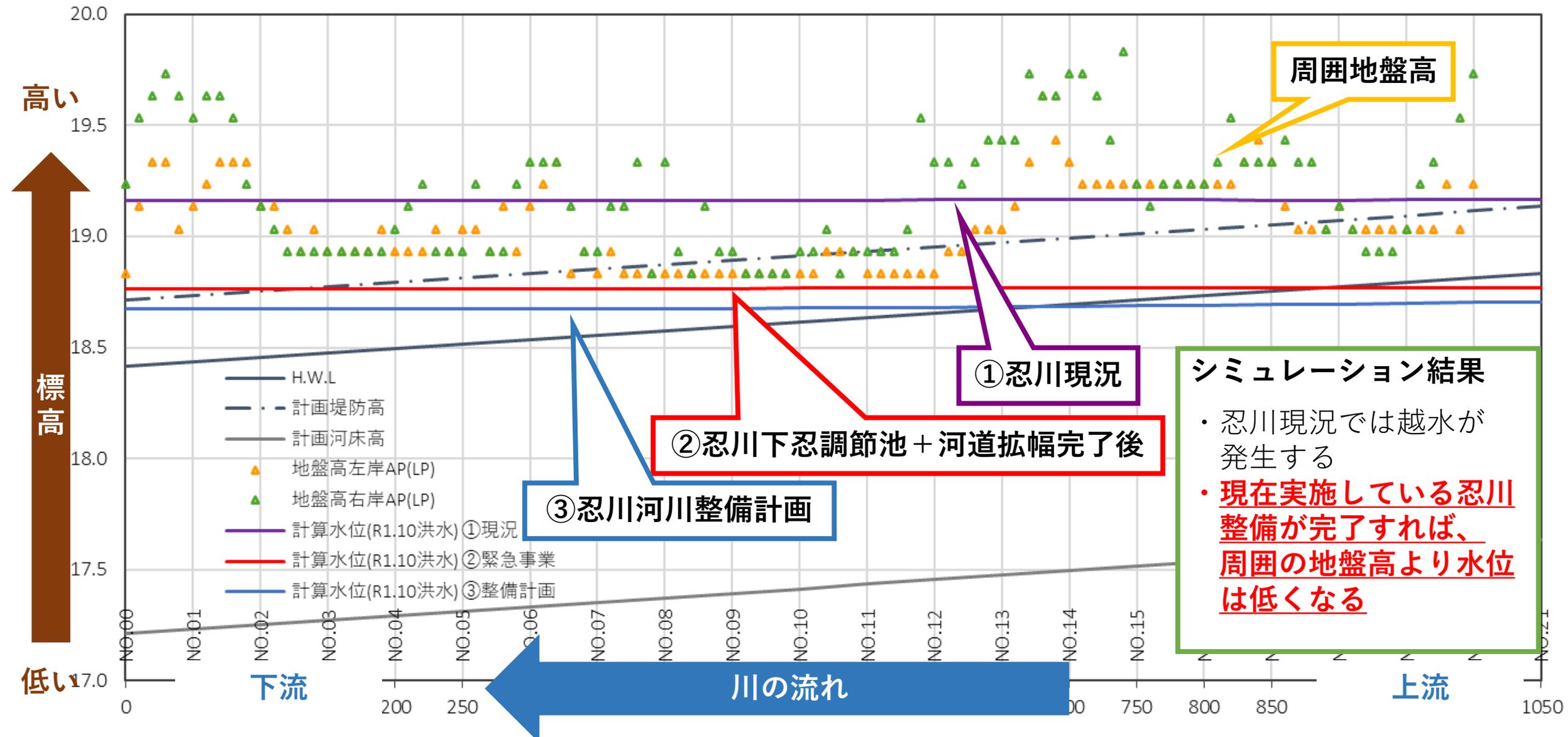
## 忍沼川の水位シミュレーション結果 A : S33.9型(1/10)



# 忍沼川逆流防止堰シミュレーション結果 (4/8)

道路治水課

## 忍沼川の水位シミュレーション結果 B：令和元年10月型



## シミュレーション結果

- 忍川の整備が進むことで、忍沼川の水位は下がる
- A : 昭和33年9月型 ( $W=1/10$ ) [忍川河川整備計画の想定降雨]

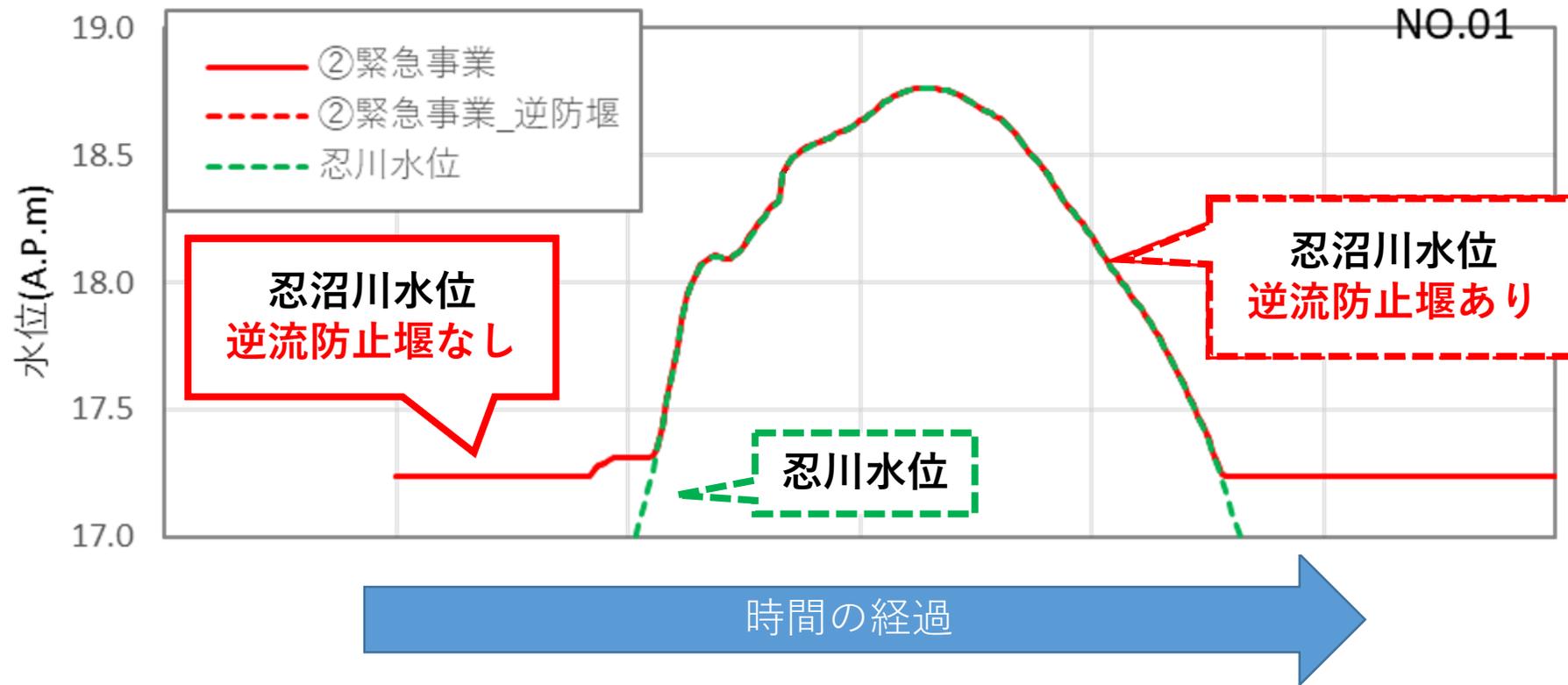
忍沼川の水位は周囲の地盤高を超えない

- B : 令和元年10月洪水

忍川緊急対策事業が完了すれば、周囲の地盤高を超えない

# 逆流防止堰の設置 シミュレーション

## 逆流防止堰の設置効果検証 ②令和元年10月型



### シミュレーション結果

逆流防止堰を設置しても、忍沼川の水位に変化は現れない

## シミュレーションの結果

逆流防止堰を設置しても、忍沼川の水位に変化が  
現れないことから、逆流防止堰の設置は、有効な  
効果を示さないことがわかりました

今後も市内水害被害防止に向けて検討を行ってまいります

# 忍川浸水対策事業に伴う3つの取組

①

**校庭貯留**

**忍沼川逆流防止堰シミュレーション**(新規)

②

**田んぼダム**

③

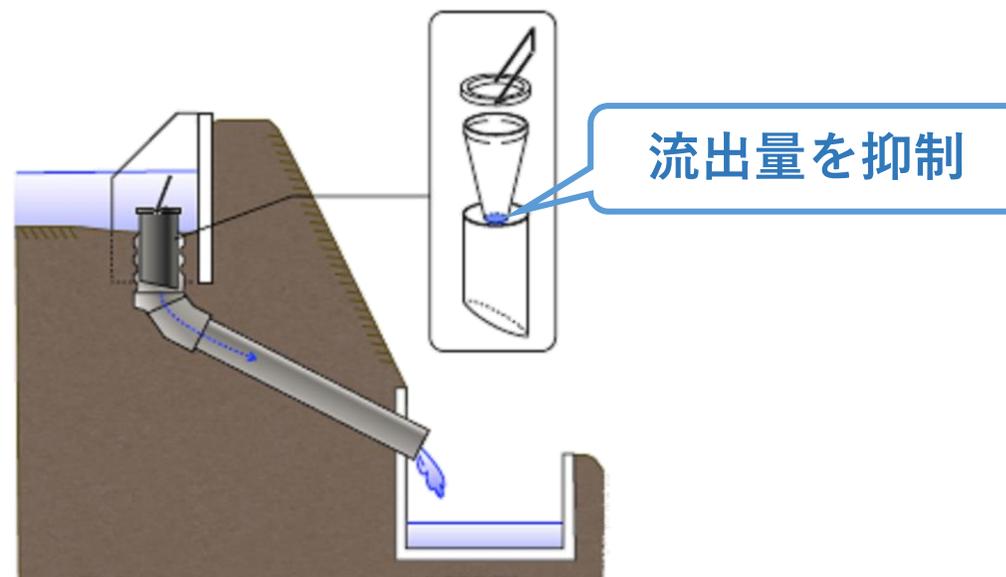
**各種防災行動に係る啓発の実施**

## 田んぼダム経緯

令和2年7月に市内17の多面的機能活動組織に田んぼダムへの取り組み依頼を行い、田んぼにある排水管を止水し雨水を貯留する方式で実施したところ、その運用過程において、大雨が予想される前に排水管を止水する操作が必要であり、協力者である農家の負担が大きいことが課題として明らかになりました。

こうしたことから、地元の負担軽減を図り治水効果を高めることを目的に、令和4年度から令和6年度において、星宮地区内の農地約24haに田んぼダム用水位調整管を設置しました。

### 田んぼダムのイメージ



※管流入部の口径15cm、管流出部の口径を5cmとし、田んぼからの流出量を抑制し洪水被害を軽減。

管を上下にスライドすることにより、営農のための田んぼの水位をコントロールする仕組み

(水位調整管は塩化ビニル製) 17

# 忍川浸水対策事業に伴う3つの取組

①

**校庭貯留**

**忍沼川逆流防止堰シミュレーション**

②

**田んぼダム**

③

**各種防災行動に係る啓発の実施**

## (1) 忍川浸水対策連絡協議会情報伝達訓練

令和7年6月19日(木)、20日(金)に、台風の接近を想定し、忍川浸水対策連絡協議会に参加いただいている皆様に対して、情報伝達メールの送信を行った。

【主な内容】 台風接近に伴う注意喚起、気象災害への備え、佐間水門の開閉

## (2) 行田市まちづくり出前講座

災害発生時の対応や備えについて、危機管理課職員が講演を行った。

【令和6年度実施回数】 39回 (参考 令和5年度：21回)

【主な内容】

「マイ・タイムライン」の啓発、水害対策に特化したDVDの上映及び解説、行田市の地域特性を反映した講座の実施、起震車による地震体験、防災クロスロードゲーム など

【忍川浸水対策連絡協議会構成自治会実施状況】

令和6年度：佐間神明自治会 (R6.6.9)

南駒形自治会(R6.10.20)

佐間公民館事業(R6.1.24)

向友会(R7.2.15)

令和7年度：第二旭自治会(R7.6.15)

佐間神明自治会 (R7.7.12予定)

佐間公民館事業(R7.9.18予定)



第二旭自治会(R7.6.15)(起震車教育)

### (3) 行田市防災士研修会

令和7年3月1日、総合体育館研修室で地域の防災リーダーである防災士の知識・技能の向上、参加者の交流できる機会を設け、地域防災力の更なる向上を図った。

(参加者97名)

#### 【主な内容】

防災クロスロードゲーム

災害対応を自らの問題と(YES or NO)考え、また様々な価値観を参加者同士が共有しながら進めるゲーム形式の防災教育

#### 【忍川浸水対策連絡協議会構成自治会】

6自治会より9人参加



防災士研修会クロスロードゲーム(R7.3.1)

### (4) 武蔵水路内水排除情報伝達訓練

令和7年5月30日、荒川大規模洪水による武蔵水路の内水排除中止を想定した関係機関との情報伝達訓練を行った。

#### 【参加機関】

水資源機構利根導水総合管理所、荒川上流河川事務所、埼玉県、鴻巣市、行田市

#### 【主な内容】

荒川及び忍川の水位を想定した情報伝達



行田市の安全・安心のため  
全力で取り組んでまいります

問合せ先：協議会事務局（道路治水課）  
556-1111（内線5731） [doro@city.gyoda.lg.jp](mailto:doro@city.gyoda.lg.jp)